

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区目標  
スローガン

ロータリーで善の循環を

高田ロータリークラブ会長方針

善いことをみんなと楽しく

よいことの  
ために  
手を取りあおう



2025-2026年度

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2560地区ガバナー 室賀信宏

高田ロータリークラブ会長 霜村浩

幹事 原野聖子

広報・会報・雑誌委員会：

齋藤尚明 小池猛紀 川上裕一 阿曾 晋  
(熊田僚己・杉田貴子)

## 第14回例会 10月31日(金)

No.14

### 会長挨拶

### ● 霜村 浩



こんにちは。

先週末の地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。内容に関しては、後程クラブ協議会にて報告させていただきます。

そして、70周年記念式典まで1週間余りとなりました。内容や役割について把握されていない方が多いと思いますので、クラブ協議会後に飯塚副実行委員長から説明をしてもらいます。

さて、記念式典前日の11月7日例会前は健康診断があります。各自、各事業所で検診を受けている方もあると思いますが、その結果について対処はきちんとされているでしょうか？今日は、食事前で申し訳ありません、少し湿っぽい話もありますが、健康についてお話ししたいと思います。

私の会社のパートさんですが、女性で60歳の方です。先月末、仕事中に具合が悪くなり、帰ろうとしたら、倒れこみ、救急搬送されました。診断は脳梗塞。そして、その他の重篤な病気も発見されました。そして、ひと月もしないうちに帰らぬ人となってしまいました。話を聞くと、健康

診断ではいくつかの項目で要精密検査という結果が出ていたのですが、再検査を受けなかったそうです。旦那さんは、やっとあこがれの花屋さんに勤めることが出来て喜んでいたので…と残念がっていました。

私も人のことが言えず、検診の結果をずっと無視していました。某元校長先生で、大変仲良くしていただいた、その方も私と同じく検診結果無視仲間だったのですが、5年前、二度とお酒が飲めない体になってしまいました。「霜ちゃんも検診結果通り病院へ行った方が良いよ」とアドバイスされ病院へ。病院の先生からは「なんでもっと早く来なかったんだ」とお叱りを受け、薬を飲み始めました。某元校長先生はその1年後お亡くなりになりました。

只、検診を受けて異常がなかったり、治療を受けたりしても油断はできません。6年前、私が大好きだった先輩が、朝、布団の中で亡くなっていました。心不全でした。その方は県外の病院にまで精密検査を受けに行くほど健康には気遣いをしていました。

ここ数年、私がスキー検定を受けたり、大型バイクの免許を取ったり、いろいろ挑戦しているのをご存知の方も多いと思いますが、いつ何時お迎えが来るかわかりません。検診の結果をきちんと受け止め、健康に留意しながら、やりたいことは後回しせずに行えるときにやりましょう。

当クラブには、Eさんという私より二回りも上の方がいますが、元気よく奥様とスキーに行ったり、ゴルフを楽しんだりしています。7月の猛暑の日、赤倉のゴルフ場コース内でお会いしたときは、1ラウンド半目だよとおっしゃっていました。強者ですね。皆さんもその方に負けな様、健康生活を送りましょう。



## 出席報告

出席率 100%

## セレモニー

地区大会表彰：

- ・ガバナー賞：新会員 3名増強 齋藤尚明君



- ・一人当たり年次基金寄付額第3位
- ・END PLIO NOW 感謝状

## 委員会報告

社会奉仕委員会：赤い羽根共同募金のお願い

## 会員インフォメーション



高坂光一君：  
バナー紹介  
・加古川平成 RC  
・小矢部 RC

## 幹事報告

配布物：会報No.13、70周年スケジュール  
回覧物：国際大会参加旅行のご案内、財団室ニュース  
報告：来週11月7日の例会について  
・8：00～ 健診（医師会館 13名）  
・12：30～ 通常例会（会場/デュオ・セレッソ）

## クラブ協議会：2025-26年度地区大会参加報告

会長 霜村 浩君

10月25日・26日、新潟市で室賀年度の地区大会が開催され、1日目の地区指導者育成セミナーには大谷パストガバナー、地区寄付・資金・ポリオプラス委員会 高坂さん、高橋米山奨学委員長、原野幹事、私の5人で。2日目は私を含め16人で参加してきました。登録は992名だそうです。2日間に渡り設営されていたポリオのコーナーでは、高坂さんと高田ローターアクトクラブのメンバーが啓発、募金活動を行いました。

1日目は午後から、会場はホテルイタリア軒で、各地区委員長の報告があり、その後の講演は二つ。一つ目はロータリー日本財団の理事で、岡崎ロータリークラブ 服部良男 第2760地区パストガバナーによる講演で、会社とロータリー運営の類似性について。二つ目の講演は、ロータリー米山記念奨学会理事で、新潟ロータリークラブ 高橋秀樹 第2560地区パストガバナーから米山記念奨学金の成り立ちから現在に至るまでのお話をいただきました。

国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会では、アトラクション小杉真二さんのピアノ演奏を堪能し、「手に手つないで」斉唱までたっぷり歓談しました。

二次会の第7分区ナイトは糸魚川クラブさんの設営で、イタリア軒向かい「鳥梅」で開催され、分区の更なる懇親を深めました。私は古町ナイトをもっと楽しめたかったのですが、私以外の高田クラブメンバーは二次会でホテルへ帰ってしまい、その後の三次会四次会はこっそりと楽しみましたが…どこへ行ったかは内緒です。

2日目、会場をANAクラウンプラザホテル新潟に移しました。午前中の本会議で、フランチェスコ・アレツォ国際ロータリー会長、会長代理で仙台宮城野ロータリークラブ 森川昭正様によるメッセージでは、会員数の現況、新会員の必要性、持続可能な成長を目指す、現存会員の積極的参加の促進、ロータリー財団への寄付推進等お話いただきました。

午後の活動報告の最初に、今年 高田クラブが窓口となりオランダに送り出したロータリー財団奨学生 鵜崎真衣さんの報告がありました。（鵜崎さんの報告画像を流す）

その後の講演では、結核予防会理事長 尾身茂先生から、「ポリオ根絶」という演題で、繰り返されるパンデミックの背景や WHO とロータリーの関わり等の興味深いお話がありました。尾身先生といえば、新型コロナウイルス感染症では大活躍された記憶があると思います。実は私はコロナ禍前から尾身先生の生き方に感銘を受けていました。今年3月、日本経済新聞に尾身先生の「私の履歴書」という題で掲載されたものの抜粋が地区大会プログラムに載っていますのでご覧ください。

ホテルの一番大きな宴会場で開かれた親睦交流会では、700名以上の参加で、会場に納まりきらず、ロビーにまで溢れかえる超大懇親会となりました。

帰りのバスは渋滞もあり時間が掛かりましたが、高田東クラブさんとの同乗で、異様な盛り上がりを見せた2時間半の二次会(?)でした。

